

### 全農グレインブラジルホールディングス有限会社

# 穀物を安定確保

## **入豆・とうもろこしの生産・輸出状況**

設立されました。2017年には、現地の穀物取扱業者と穀物メジャ-の確保を目指します。 今後も穀物の生産と輸出の拡大が見込まれるブラジルで、更なる飼料穀物の安定供給基盤 荷・輸出会社ALZ社(アマッジ・ルイドレファス・全農ホ 全農グレインブラジルホールディングス有限会社は、2015年にブラジル・サンパウロにて ールディングス株式会社)に出資し、 との合弁で穀物集



写真1. 穀物を海外へ輸送するバラ積み船

#### 経済下支え農業がコロナ禍の

が世界でも上位に位置し、 ブラジルは一時、 を実施したものの、経済は深刻な影響を受けまし えば、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大です。

けています 国内消費を下支えしています。また、農畜産物の財・ をはじめ、生活に必要な農産物の生産量は増加し、 DPの約1/4を占める農業部門はプラス成長を続 一方、感染拡大という危機下においても、 農業部門がブラジル経済を下支えしています。 フェイジャオン(食用豆)、米、 国内G

2020年、2021年を象徴する出来事とい 人口100万人あたりの死亡者数 連邦政府は多額の対策

ビス輸出における貢献も非常に大きくなってお コーヒー

#### 増産の余カ十分世界有数の農業大国

増加のポテンシャルは世界最大です。 農地へ転用可能な土地が、まだ約2億20 加が見通される中、 も残っているといわれています。農畜産物の生産量 確保が必要ですが、 きな役目を果たしています。今後も世界の人口の増 アを持っており、 牛肉、鶏肉、とうもろこしなども輸出量で上位のシェ コーヒー、砂糖、大豆の生産量・輸出量が世界最大で、 大の生産量・輸出量を誇る品目が数多く存在します。 世界有数の農業大国であるブラジルには、 各国の食糧需要を支える非常に大 食糧需要を満たすための農地の 同国には放牧地をはじめとする 00万 世界最

既に多くの品目において世界有数の生産量を誇り 同国の農畜産物の生産量は今後も堅調に増

> 国であり、その他の穀物についても輸入依存度が高 後も世界シェアをけん引すると見られるのが大豆及 すます大きなものになると考えられています。 びとうもろこしです。 え続ける見通しで、 重要な輸入相手国であり続けます。 わが国にとって、食糧安全保障上、 過去30年間で生産量・輸出量が大きく伸び、 食糧供給国としての存在感は 世界有数のとうもろこし輸入 同国は引き続 中で 今 ま



### 大豆生産は過去最大

過去最大の1億4075万七になる見通しです。ブ 極的に導入されており、 ラジルでは、米国と同じく遺伝子組み換え品種が積 大豆は、国家食糧供給公社の10月のクロップレポー (執筆時)では、2021/22年度産の生産量が ビッグデー 夕の活用など最先端技術が 農作業の面でも、

導入され、技術支援による生産性向上も見られます。 単収は増加傾向にあります。 年ごとの生育期の天候には影響されるも

需要も回復基調をたどっています 国向けの輸出量の減少が見られたものの、 による飼料用大豆粕の需要減によって、 輸出量が著しく伸び続けています。直近では、主に 輸出については、最大の輸出先である中国向けの 国で発生したアフリ 一時的に中 米中貿易 その後は

60

125 生産量(左軸) 輸出量(左軸) 70 100 輸出量世界シェア(右軸) 75 50

表. ブラジル産とうもろこしの生産量及び輸出量推移

輸出量世界シェア(右軸)

輸出量(左軸)

100

80

生産量(左軸)

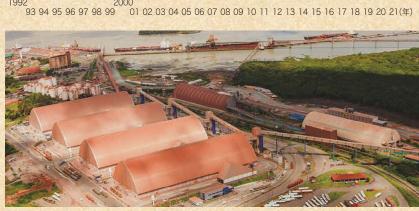


写真2. ALZ社のイタキ港テグラム輸出ターミナル

協議の行方に不透明感が続く中で、 は再び堅調に伸び続けています。 中国向け輸出量

#### 米国と並ぶ代表国へ とうもろこし輸出

年度産の生産量が過去最大となる1億1631万1 品種が積極的に導入され、 大豆と同様に遺伝子組み換え 最先端技術や技術支援に トでは、 2 0 2 1 / 22



写真3. サンパウロ駐在員による作柄調査

よる生産性向上も見られ、 単収は増加傾向にあり

輸出需要もそれに応じて増加し続けると見込まれて 全体の約3/4を占めるまでシェアを拡大していま てわが国をはじめとする世界のとうもろこし需要国 び価格高騰をきっかけに、米国産以外の代表格とし 2年に米国で発生した干ばつによる米国産の不作及 付けされる、冬作があります。輸出向けは、 主に内需向けに生産される夏作と、 す。このように、 から注目されるようになりました。 の生産量は増加傾向にあり、 ブラジル産とうもろこしの生産は二毛作で行わ ブラジル産農畜産物の生産量は今 国内需要及び穀物をはじめとす 同国産とうもろこし それに応じて冬 大豆の裏作で作 2 0 1